

# 思いやり予算の削減・廃止を求める請願書

衆議院議長 様

参議院議長 様

2011年 月

## 【請願趣旨】

日本政府は、条約上義務のない、在日米軍に対する「思いやり予算」を1978年以来33年間払い続け、その合計額は6兆円を超える、世界でも例を見ないものとなっています。

2010年度の「思いやり予算」と米軍基地再編費用の合計額は3370億円に達し、自公政権時よりも増えており、アメリカは、さらに「思いやり予算」の増額を日本に求めています。

これに対して菅内閣は、2011年度予算では事実上「特別枠」で現状を維持するとともに、思いやり予算に関する日米の特別協定を現行の3年から5年に延長して、5年間にわたって支出を固定化しようとしています。

一方、国内では、格差と貧困が拡大し、さらに社会保障費の削減が続けられてきたことにより、毎年3万人以上の自殺者が続くなど、国民のくらしはいちだんときびしい状況になっています。いま、医療・福祉や教育、農業、中小企業への財政支援の強化が切実に求められています。

現在の「思いやり予算」協定は、2011年3月に期限切れを迎えます。現在の協定が自公政権によって強行された2008年4月の参議院では、当時野党であった民主党も反対して協定がいったん否決されています。この経過からもこの措置は容認できません。

いまこそ、思いやり予算を削減・廃止して、国民生活の支援に回すことが求められています。私たちは、2011年度の国家予算編成にあたり、下記事項を請願します。

## 【要請項目】

○「思いやり予算」を削減し、廃止すること。

氏名	住所

取り扱い団体

2011年3月に「思いやり予算」の特別協定が期限切れになります。

政府は1月21日にアメリカの駐日米大使との間で新しい「思いやり予算」特別協定を調印し、今国会で承認を求めようとしています。

**米軍よりも国民への思いやりを!**

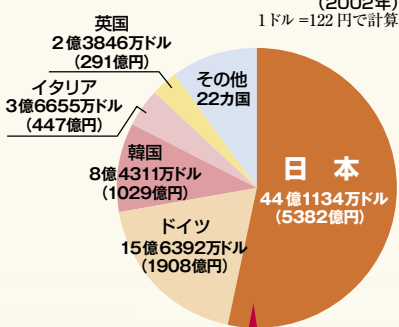
**米軍への**

**思いやり予算**

今後さらに**5年間で1兆円!**

一番のムダづかい

米国の同盟国が負担する米軍駐留経費 (2002年)



各国合計の半分以上を **日本が負担**

### 世界でも突出している日本の負担

日本の米軍駐留経費は、世界の米軍基地の駐留経費の半分以上占めており、ドイツの111倍、韓国の6.6倍という、米軍にとって「世界でもっとも気前のいい国」となっています。

### 米兵の遊興にかかわる費用まで負担

「思いやり予算」は、日本人従業員の人件費や、米兵のための住宅、小中学校、教会、果ては、バーテンダーの蝶ネクタイやマネージャーやゴルフ場整備員の費用などの遊興費にも使われています。

米軍住宅は1戸あたり4830万円(土地代なし)、沖縄にあるリュウキュウ・ミドルスクールには4000メートルの陸上競技場があります。

リュウキュウ・ミドルスクール



背景はキャンプ座間のゴルフ場

**安保破棄中央実行委員会**

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-11-13  
TEL 030-3264-4764 FAX 03-3264-4765